

新しい町会議員26人が決まる

投票率は町議選87%、県議選73%

町議会議員選挙候補者別得票数

永井 武弘	七四八票	板井	無所属現
野崎 太策	七二八票	小平方	無所属新
大野仁平治	六八五票	小平方	無所属現
白川 耕	六三六票	善久	無所属新
高橋 喜一	五六〇票	金巻	無所属現
笠原 満夫	五五四票	木場	無所属現
保町定次郎	五五三票	黒鳥	無所属現
山際 信三	五三三票	木場	無所属新
坂井 行康	五二六票	大野	無所属現
深澤 長一	五一三票	小平方	無所属現
大矢 誠策	五〇六票	板井	無所属現
江端 年一	五〇三票	黒鳥	無所属現
磯部 博	四九九票	善久	無所属現
東條 栄松	四九〇票	大野	無所属現
高橋 博男	四七九票	金巻	無所属現
黒川 繁	四七八票	木場	無所属現
成海 仁助	四七〇票	木場	無所属現
大坂 久六	四六〇票	大野	無所属現
山際 留吉	四五四票	木場	無所属現
伊藤 健三	四二九票	鳥原	無所属現
田代 敏男	四一九票	山田	無所属現
藤橋十三男	四〇四票	山田	無所属現
鳴海 敏雄	四〇一票	立山	無所属現
佐藤 寅一	三五八票	大野	無所属現
高橋 勇	三五三票	大野	無所属現
山際 由衛	三五一票	木場	無所属現
高橋 重雄	二三三票	大野	無所属現
岩野 弘昌	二二六票	大野	無所属現

黒埼町議会議員一般選挙投票率 (4月26日)

投票所	当日の有権者数	投票者数	投票率
1. 興野 保育所	1,855	1,684	(90.85)
2. 黒埼町 公民館	3,110	2,693	(86.59)
3. 大野 小学校	1,513	1,392	(92.00)
4. 善久 保育所	1,597	1,341	(83.97)
5. 山田 小学校	2,524	2,073	(82.13)
6. 板井 保育所	819	775	(94.63)
7. 木場 小学校	1,798	1,667	(92.71)
8. 黒鳥 公民館	1,011	952	(94.16)
9. 寺地 保育所	1,373	1,048	(76.33)
計	(14,380)	(13,434)	(93.42)
	15,600	13,625	87.34

※()は前回 無効票70

新潟県議会議員一般選挙投票率 (4月12日)

投票場	当日の有権者数	投票者数	投票率
1. 興野 保育所	1,853	1,447	(78.09)
2. 黒埼町 公民館	3,114	2,128	(68.34)
3. 大野 小学校	1,512	1,164	(76.98)
4. 善久 保育所	1,594	1,051	(65.93)
5. 山田 小学校	2,521	1,621	(64.30)
6. 板井 保育所	819	667	(81.44)
7. 木場 小学校	1,794	1,552	(86.51)
8. 黒鳥 公民館	1,010	843	(83.47)
9. 寺地 保育所	1,372	891	(64.94)
計	(14,379)	(11,293)	(78.54)
	15,589	11,355	72.84

※()は前回

候補者別得票数

氏名	得票	氏名	得票
当 武田 武夫	7,535	次 水倉 庄市	223
当 長津 光三郎	1,430	当 竹内 十次郎	1,693
当 小林 静夫	294		

前回候補者別得票数(58.4.10執行) 無効票 181

氏名	得票数	氏名	得票
当 水倉 庄市	471	当 武田 武夫	8,366
当 竹内 十次郎	1,010	当 小林 静夫	304
小川 茂	445	次 長津 光三郎	550

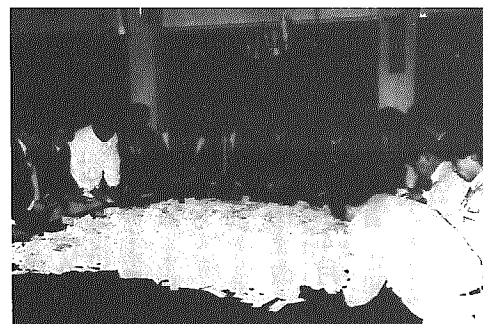
無効票 145

町議会議員選挙

四月二十六日(日)執行された町議会議員選挙は町内九カ所の投票場で投票が行われ、即日開票の結果上記のとおり当落が確定しました。当日の有権者数は一万五千六百一人、投票者数は一万三千六百二十五人で投票率は八七・三四%と町議選では初めて九〇%を割りました。

県議会議員選挙

四月十二日(日)、今回の統一地方選挙のトップを切って行われた新潟県議会議員選挙の各投票所別投票率と各候補者別得票数は左下の表のとおりでした。平均投票率は七二・八四%で、前回の平均投票率は七八・五四%を下回りました。



役場議場で開票。天井の懐中電灯は停電に備えてのもの

県議会議員選挙西蒲原町村別得票数

候補者	竹内十次郎 (社会党・現)	長津光三郎 (無所属・新)	小林 静夫 (自民党・現)	武田 武夫 (自民党・現)	水倉 庄市 (自民党・現)	投票率%
岩室村	1,172	1,945	1,406	205	1,395	83.48
弥彦村	841	672	3,097	114	320	86.07
分水町	1,810	1,900	3,423	552	1,550	81.47
吉田町	2,686	3,800	4,290	371	2,021	80.60
巻 町	5,110	4,932	1,263	463	5,559	83.49
西川町	1,465	1,199	568	2,034	1,136	78.91
黒埼町	1,693	1,430	294	7,535	223	72.84
味方村	668	405	447	788	245	73.20
湯東村	2,033	383	371	691	488	85.27
月湯村	612	241	742	498	255	82.86
中之口村	1,210	668	846	833	334	80.20
合計	19,300	17,575	16,747	14,084	13,526	80.50

町とのパイプより太く。自治会長会議開く

活発な意見交換行われる

地域と役場をつなぐパイプ役—自治会長さんに新しく決まった方を4月15日号の広報でお知らせしました。その自治会長さん方に町の現状を知っていただき、町と地域をより密接に結びつけていただくため、自治会長会議が開かれました。



四月十六日(木)、役場議場で昭和六十二年度自治会長会議が開かれました。会議には五十六自治会長らの自治会長と町から二役、各課局長が出席しました。

最初に、富岡助役が開会の言葉を述べ、青木町長があいさつしました。その中で、三月定例議会での予算案などが可決されたことを報告し、今年度の重点的な事業を説明したあと、さらに次のように述べました。①これまで進めてきた企業誘致で既に一社が開業し、今年はまだ一社が開業を予定して

いる。町の財政面の硬直化を打破するため、今後とも企業誘致を進める。②町内にある県の施設や企業で、町外へ出ていこうとしているものの跡地の利用については、できるだけ町の利益につながるように働きかけている。

その後、助役以下管理職の紹介と、助役による今年度の町の各事業の説明、各課からの連絡などがありました。

最後に質疑応答があり、下記のように活発な質問・意見が自治会長から町へ出されました。

質疑応答

—企業誘致の問題でかんばしくない話がある。企業誘致を今後とも続けるといことなので、今後はこういう話の出ないよう、慎重で信頼に足る姿勢で進めてほしい。

町長 怪文書が出たことについては私の不徳のいたすところであるが、そこに書かれているようなことはしていない。百条委員会については議会の権限で、長がどうのこうの言うわけにはいかないが、町の信用が落ち、町全体の不幸だった。信用回復は至難の技であるが、信用回復と真相の解明に皆さんのご協力を得て、努力したい。

—鳥原のシンコーストア近くの水路にサクがなく、子供が転落するおそれがあるのでなんとかしてほしい。

町長 関係者とのちほど協議していただき、善処したい。

—保健委員のなり手がなく、自治会で

保健委員に手当を出しているが、町では保健委員にどのような手当を出しているのか。

保健衛生課長 保健委員としての報酬はないが、町主催の行事に1回参加するごとに1,500円支給している。

—固定資産税が高いようだが、固定資産評価審査委員の人数と名前を教えてください。

税務課長 3名で大橋憲司、佐藤平作、諏訪辰夫の各氏。

—交通公園のトイレを早く設置してほしい。

住民福祉課長 今年度、予算もついたので、まもなく設置できるだろう。

—各種の募金について。広く町民の協力を得るため広報に載せ、その結果についても広報で知らせてほしい。また、募金の回数が多い(昭和61年度では9回)、住民の協力が得にくくなってきている。銀行やスーパーなどに募金箱を置き、

いつでも募金できるようにするなど、募金の方法を変えるのを考えてもよいのではないか。

助役 できるだけ募金の回数が少ないにこしたことはないが、それぞれ目的の違う募金であり、目的に沿って募金をお願いしなくてはならない。

住民福祉課長 募金の広報掲載については、スペースなどの関係があつて要望にこたえきれぬかどうかかわからないが、最大限載せるよう努力する。

—広報の配布について、1日発行のが金曜日に自治会配布ということで10日ころ届くことがある。そうした場合は、用事が足りないことがあるのでは。金曜と限らず、できるだけ早く配布することをお願いしたい。

企画開発課長 月の5日くらいの催し物については、それ以前の広報に2度くらい載せるようにしている。

「全国農業構造改善局長賞」を受賞 県内初

板井北部地区

板井北部地区が、農業構造改善優良地区として、構造改善局長賞を新潟県内で初めて受賞しました。受賞式は3月19日(木)東京の全国町村会館で行われ、代表者の山本三代司さんに賞状と記念品が手渡されました。

板井北部地区は昭和56年から農業構造

改善事業に取り組み、積極的な事業推進の実績が認められ、今回の受賞となったものです。

この受賞は、新潟県だけでなく北陸四県の中でも初めての受賞であり、今後の農業施策の模範となるものだと関係者は話しています。



表彰を受ける板井北部地区